

【2016年度】ワークショップ

テーマ	企画責任者	開催時期	詳細	研究成果	結果報告
「文化活動のマーケティング研究会」	川北 真紀子（経営学部）	2016年8月28, 29日	ポスター (PDF)	『クラシック音楽専門ホールにおけるボランティア制度による顧客コミットメントを活用したマーケティングPR戦略：宗次(むねつぐ)ホールの事例研究』、広報研究、2017.3、川北真紀子	結果報告 (PDF)
「YNU-NANZAN ファイナンス」	竹澤 直哉（経営学部） 池田 亮一（ビジネス研究科）	2016年10月29, 30日	ポスター (PDF)	『消費ベースモデルによる利率の期間構造の分析』、経営財務研究 第31巻第1号(2011年)、池田亮一	結果報告 (PDF)
「都市のOR」	三浦 英俊（理工学部）	2016年12月10, 11日	詳細(Webサイト)	線分モデルを用いた鉄道路線の最適配置』、日本オペレーションズ・リサーチ学会 2016年春季研究発表会 アブストラクト集、2016年3月、三浦英俊・神宮司和樹	結果報告 (PDF)
「観光経済学」	赤壁 弘康（経営学部） 南川 和充（経営学部）	①2017年1月7, 8日 ②2017年3月27日	① ポスター (PDF) ② ポスター (PDF)	『地方創生拠点としての道の駅への期待』経営総合科学 第106号、愛知大学経営総合科学研究所、2017、津田康英・麻生憲一 『「道の駅」設置と農業生産効果』奈良県立大学研究季報 第27巻第4号、2017、津田康英・麻生憲一 『長崎における世界遺産観光-「明治日本の産業革命遺産」と「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」のこれから-』、九州地区国立大学教育系・文系研究論文集4、pp.1-7、2017、深見聡・沈智炫 『「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」にみる世界遺産観光の展望』、日本観光研究学会全国大会学術論文集 31、pp.181-184、2016、深見聡・沈智炫 『近代化産業遺産とダークツーリズム-産業社会の光と影を考える-』、日本観光研究学会全国大会学術論文集31、pp.353-356、2016、井出明・鈴木晃志郎・深見聡・須藤廣 『地理教育における領土教育の重要性 -- 大学生を対象とした領土に関する認識調査から-』、地理教育研究 19、pp.1-10、2016、深見聡 『三島村・鬼界カルデラジオパークにおけるジオツーリズムの取り組み』、島嶼研究 17(2)、pp.1-19、2016、深見聡 『長崎の観光と世界遺産-産業革命遺産と教会群のこれから-』、地理 61(7)、pp.32-40、2016、深見聡 『我々は世界をいかに把握しているのか-ダークツーリズムの知識科学に対する貢献-』、研究報告人文科学とコンピュータ (CH)第2017-CH-113巻第9号、pp.1-4、2017、井出明 『クルーズ客船寄港の経済波及効果』「沖縄の観光・環境・情報産業の新展開」沖縄国際大学産業総合研究所 編(泉文堂)第2章所収、2015、田口順等	結果報告 (PDF)
「アジア諸国の経営」	コンダカル・ミザナル・ラハマン (ビジネス研究科)	2017年1月28日	ポスター (PDF)	“Value Creation through Co-creation: The case of Smart City ” in Kappei Hidaka (ed.) Industrial Renaissance: New Business Ideas for the Japanese Company, Chuo University Press, Tokyo, 2017. 所伸之 『脆弱なセーフティ・ネットを補完するマイクロ保険』、Social Design Review , Vol. 8、2016、石坂貴美	結果報告 (PDF)
「マーケティング論・産業組織論・ビジネス経済学」	湯本 祐司（ビジネス研究科） 後藤 剛史（経営学部） 南川 和充（経営学部）	2017年1月28, 29日	ポスター (PDF)	“Freemiums on Advertising Platforms”, September 29, 2016Zenny, Yusuke	結果報告 (PDF)
「消費者行動」	湯本 祐司（ビジネス研究科） 石垣 智徳（ビジネス研究科）	2017年3月5, 6日	ポスター (PDF)	『地域活性化のための観光みやげマーケティング -熊本の ケーススタディー-』、大阪公立大学共同出版会、2017年1月、荒木長照・辻本法子・田口順等・朝田康禎	結果報告 (PDF)
「国際会計研究会」	白木 俊彦（経営学部）	2017年3月9日	ポスター (PDF)	『2013年IASB『討議資料』における資産および負債の定義の検討』、国際会計研究学会 年報 2014年度 第1号、2015年7月、中山重穂	結果報告 (PDF)